

開講年度	2024	開講学期	春学期
科目コード	ZG0261	授業コード	40251
科目名	国際社会を知る（オンデマンド型/木曜日配信）		開講曜日・時限 集中講義
担当教員名【代表】	坂本 真司		
担当教員	佐野 光彦（神戸学院大学）		
授業形態	講義		
単位数	2単位		
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること		

授業の目的	国際社会とはどのような社会か、それは過去から現在にかけてどう変化してきたか。そこにはどのような問題があり、その背景は何か。本科目では、これらの点を教員のレクチャーをとおして検討するものである。複数の分野や領域から国際問題を具体的に認めながら、その克服を目指す動きについても考える。そうして私たちの幸福追求に資する知識を身につける機会としたい。
-------	---

授業の内容

①能力開発メソッド	本科目では次の2つの成果が目指される。1) 国際社会の実態や直面する問題について、研究者の学説や、専門家の説明から詳しく学び知識を得ること、そして2) 国際問題解決の取り組みについて、NGOといった各種専門機関の活動をみながら把握することである。
②課題レポート等	各回講義後には、授業での成果を振り返るための課題に取り組んでもらう。基本ルールは第1回授業にて案内する。評価の基準は基本的に本課題の成果による（成績評価の基準と方法を併せて参照）。
③授業概要	授業各回では、教員作成の音声付パワーポイント資料が指定曜日朝9:10からエルキャンパスより発信される。受講生は、決められた期限内に資料をダウンロードし、視聴することで学習を進める。資料では、動画視聴用、ならびに情報探索のためのリンクが設定されている。これらリンクに入り作業もすること。資料視聴後は、決められた期間内に課題の作成と提出をすること。学習方法の詳細は第1回授業で案内する。
授業時間外学習	授業各回での学習内容を要約する作業を課す。基本ルールは第1回授業で案内する。

授業計画

	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	講義全体の概要	授業の進め方を中心に講義全体のガイダンスをするとともに、予備知識の習得を目指す。	事前学習：ガイダンス資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)。
02	知識／能力	国際社会の基礎知識	国際社会の概念とその形成の背景を、世界史の観点から検討し、基礎理解に努める。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
03	知識／能力	国際政治	国際政治とは何か、その概念と現状を政治学の学説を交えながら検討する。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
04	知識／能力	国際経済	国際経済とは何か、その概念と現状を経済学の学説を交えながら検討する。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
05	知識／能力	国際移動	「移民」と「難民」を主な例にして、国際移動にまつわる知識を具体的に学ぶ。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
06	知識／能力	国際紛争	国際紛争に関する知識を、具体例を交えながら学ぶ。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
07	知識／能力	グローバル化とは何か	グローバル化の概念とその実態について事例を交えながら具体的に理解する。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。

08	知識／能力	生活からみる国際社会：服飾文化	ファストファッションをトピックに、服飾文化の観点から国際社会の動向をみる。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
09	知識／能力	生活からみる国際社会：食事情	食料自給をトピックに、食事情の観点から国際社会の動向をみる。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
10	知識／能力	生活からみる国際社会：団地の多文化化	多文化化する団地社会を例に、居住空間の観点から国際社会の動向をみる。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
11	知識／能力	南北問題からグローバルサウスへ	貧困問題を基本トピックにして、いわゆる先進国と発展途上国の関係について考える。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
12	知識／能力	国際協力	国際協力の概念と、その具体的成果・課題について知識を得る。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
13	知識／能力	国際協力の実際	バングラデシュにおけるNGOの障がい者支援を例に、国際協力の実際を理解する。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
14	知識／能力	国際協力における日本の役割	バングラデシュでの障がい者支援を例に、日本による国際協力の成果と課題をみる。	事前学習：予習読本をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておく(120分)。事後学習：授業内容要点整理(120分)。
15	知識／能力	授業全体の要点整理	各回の要点整理と授業全体での成果の確認をする。	事前・事後学習：フォーマットを用いてこれまでにまとめた講義ノートで読み通す(合計240分)。

到達目標と学習成果

①知識レベル	1) 現代国際社会のありよう、そこでの問題とその背景について基本的な知識をえる。 2) 国際問題を克服する取り組みについて、その成果と課題を具体的に把握する。 3) 国際問題に取り組む主体について、事例をとおして詳しい知識を身につける。
②能力レベル	1) 現代国際社会の問題について知ること、その当事者であるとの自覚を確立させる。 2) 国際問題の解決に向けて、その方向性や戦略に関してアイデアを創造する力を養う。 3) 1)と2)をとおして、自身のキャリア形成における社会貢献の意味を考える機会が得られる。

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション	1	プレゼンテーション	1	リーダーシップ	2	行動力	2
創造力	2	計画力	1	論理的思考力	3	分析力	3
チームワーク力	1	社会的責任	3				

成績評価の基準と方法	授業成果を図る課題の提出（各回終了後、授業時間外にて作成と提出。毎回ルールを指示）にて評価を下す（100%）。【評価基準 A（90点以上）、B（89-80点）、C（79-70点）、D（69-60点）、F(60点未満)】併せて「授業の内容②課題レポート等」を参照)
教科書	特に定めない。毎回オンデマンド資料（音声付パワーポイントファイル）で学習を進める。
参考図書	適宜紹介する。
授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。
備考	関連する時事問題の発生ほか諸事情で、授業計画がシラバスのとおりとならない場合がある。本科目は、神戸学院大学教員との共同開発授業である。担当：第1-12回、第15回は坂本、第13・14回は佐野